

Ⅲ 資料館

今回編集するにあたり、新たに浦頭引揚記念資料館、佐世保空襲資料室、特攻殉国の碑資料館水上特攻艇「震洋」展示館の三つの資料館を追加しました。市や地域の方々が集めた貴重な資料や写真などが展示されています。実際に資料館に足を運んでいただき、当時の状況や当時の人々の気持ちを想像して、より戦争と平和に関する理解を深めていただければ幸いです。

「Google マップ」を使用

No. 名称	① 浦頭引揚記念資料館	所在地	佐世保市針尾北町 824
問合せ先	浦頭引揚記念資料館 (Tel.0956-58-2561)	管理者	佐世保市



■ 経 緯 太平洋戦争の終結に伴い、海外から約 629 万人の日本人が引き揚げ、このうち佐世保引揚援護局があった佐世保市浦頭には約 139 万 6 千人が上陸された。佐世保市浦頭に引き揚げられた人々の足跡を郷土の歴史的遺産として後世に伝え、恒久平和を祈念するため、昭和 61 年 5 月から運営している。

■ 内 容 浦頭引揚記念平和公園内にある鉄筋コンクリート造の施設である。引揚者の衣服や日用品といった当時の貴重な資料や写真などが展示されている。
 開館時間 4 月 1 日～10 月 31 日 午前 9 時～午後 6 時
 11 月 1 日～3 月 31 日 午前 9 時～午後 5 時
 休館日 12 月 30 日～1 月 3 日
 入館料 無料

■ HP 佐世保市 HP
<https://www.city.sasebo.lg.jp/siminseikatu/simian/uragashira.html>

「Google マップ」を使用

No. 名称	2 佐世保空襲資料室	所在地	佐世保市戸尾町 5-1 市民活動交流プラザ3階
問合せ先	佐世保市市民安全安心課 (TEL0956-24-1111)	管理者	佐世保空襲犠牲者遺族会



■経緯 昭和 20 年 6 月 28 日午後 11 時 58 分、いきなり「空襲警報」を知らせるサイレンが鳴り始め、「モロツのパン籠」と呼ばれた約 1 トンの焼夷弾が次々と市街地に投下された。またたく間に市街地は「火の海」と化し、主要な建築物が戦災で焼失してしまった後の市街地は文字通り焼け野が原となった。この佐世保空襲という史実を後世へ語り継ぐため、平成 18 年 12 月から運営している。

■内容 旧戸尾小学校跡地(市民活動交流プラザ)の一室を利用した施設である。
当時の空襲の様子がわかる貴重な写真や資料などが展示されている。
開館日 毎週土曜日・日曜日
開館時間 午前 10 時～午後 3 時

■HP 佐世保市 HP
<https://www.city.sasebo.lg.jp/siminseikatu/simian/sasebokuusyu.html>

No. 名称	③ 特攻殉国の碑資料館・ 水上特攻艇「震洋」展示館	所在地	東彼杵郡川棚町新谷郷 854-7・819-2
問合せ先	川棚町産業振興課商工観光係 (TEL0956-76-8335)	管理者	新谷郷



- 経 緯 特攻殉国の碑は、昭和 42 年 5 月に旧隊員らが全国に呼び掛けて、旧海軍の魚雷艇訓練所があったゆかりの地に建立された。碑の上部には激戦地であったフィリピンコレヒドール島と沖縄の石が添えられており、碑には戦死者 3,511 名の名が刻まれている。
- 内 容 資料館には、当時の訓練の様子分かる書物や衣類、写真などが展示されている。
 展示館には、川棚臨時魚雷艇訓練所で訓練が行われていた特攻兵器「震洋」の実物大の模型が展示されている。
 両施設とも通常は閉館しているため事前の連絡が必要。
 川棚町戦時遺構ボランティアガイド協議会によるガイドも行っている。(要予約)
- HP 川棚町観光ガイド
<https://www.kawatana.jp/kankou/wartime-ruins/>